

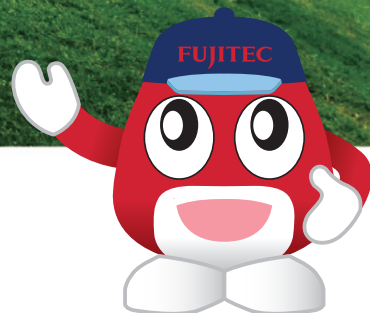


中間報告書

第75期 フジテック株式会社
2021年4月1日～2021年9月30日

目次

株主の皆さまへ	1
セグメント情報	3
TOPICS	4
財務ハイライト	5
企業データ／株式についてのご案内等	6



当社マスコットキャラクター
“テッキー”

株主の皆さまへ

お客さま・従業員・関係先の
“安全・安心”を最優先に、
持続的な成長を目指します。

代表取締役社長 内山 高一



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに当社第75期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業報告とご挨拶を申し上げます。

■ 業績について

国内・海外とも好調。増収増益

当中間期の業績は、売上高は、866億22百万円(前年同四半期比13.4%増)、営業利益は83億74百万円(同66.1%増)で増収増益となりました。国内外で新設・アフターサービス事業ともに好調で売上高が増加し、社会インフラである昇降機の保守事業は引き続き安定して推移しました。また、主に各事業の採算性向上が営業利益の増加に貢献いたしました。受注高は、国内・海外ともに新設工事で大型案件の受注やモダニゼーション工事の順調な増加で、967億33百万円(前年同四半期比11.6%増)となりました。通期業績は、期初の計画を据え置き、売上高は過去最高を更新する1,840億円(前期比8.5%増)、営業利益139億円(同4.6%増)の増収増益を目指しています。

■ 配当金について

中間期配当5円増配し25円

当社は株主の皆さまへの積極的な利益還元を経営の最重要課題の一つとして捉えており、第75期の中間配当金は、前年同四半期と比べて、5円増配の1株当たり25円としました。期末配当金は35円を予定しており、通期の配当金は前期と同じ60円(配当性向52.4%)となる見通しです。

株主の皆さまには、今後とも末永くご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

2021年11月

売上高 **866**億円

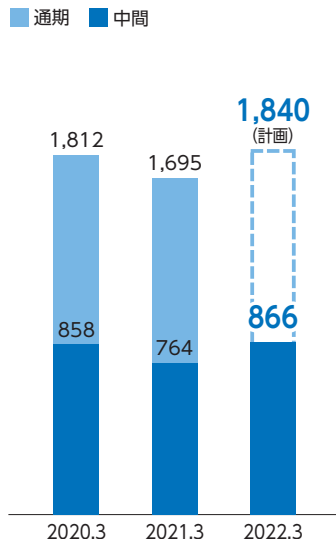
営業利益 **83**億円

経常利益 **94**億円

親会社株主に
帰属する
四半期純利益 **69**億円

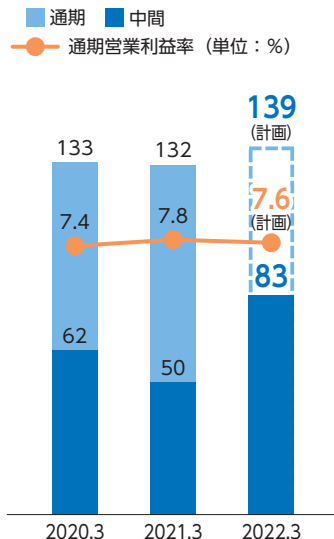
売上高

(単位：億円)



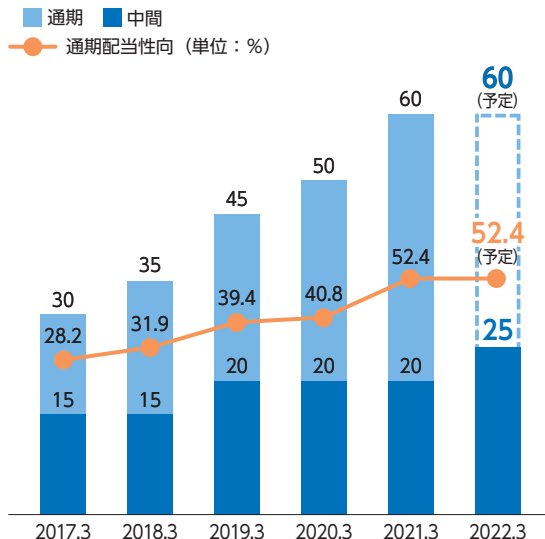
営業利益

(単位：億円)



1株当たりの配当金

(単位：円)



セグメント情報

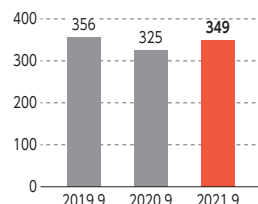
※売上高、営業利益のグラフ数値は調整前の数値です

日本

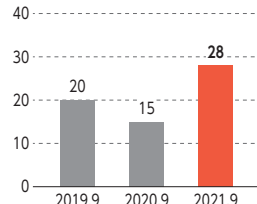
売上高 **349** 億円
営業利益 **28** 億円

売上高は、大型ジョブの進捗などにより、新設工事およびモダン化工事の売上が増加したほか、保守は引き続き堅調に推移し、前年同四半期比7.3%増となりました。営業利益は、売上増により、新設事業、アフターマーケット事業ともに採算が改善し、12億64百万円増加しました。エアータップ(エレベータ非接触ボタン)は、新設・既設ともに好調に推移しました。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

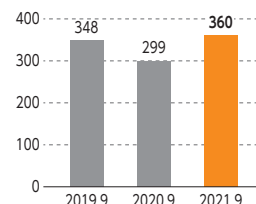


東アジア

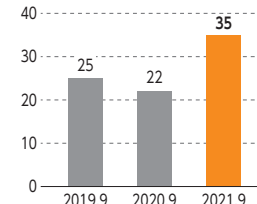
売上高 **360** 億円
営業利益 **35** 億円

売上高は、香港でアフターマーケット事業が増加し、台湾および中国では新設工事が伸長したことが要因となり前年同四半期比20.2%増(為替の影響を除くと13.9%増)となりました。営業利益は、中国で販売管理費の増加により減益となったものの、香港ではサービス事業の採算が向上。台湾でも新設工事の採算が大きく改善し、12億60百万円増加(為替の影響を除くと11億79百万円増加)しました。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

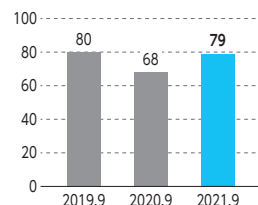


南アジア

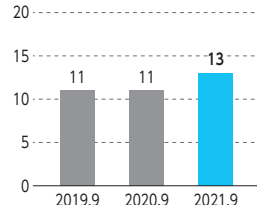
売上高 **79** 億円
営業利益 **13** 億円

売上高は、インドおよびマレーシアの新設工事、シンガポールのサービス事業が増加し、前年同四半期比15.8%増(為替の影響を除くと12.5%増)となりました。営業利益は、インドネシアで新設工事の採算が低下し減少したものの、シンガポールでサービス事業の伸長が寄与し、2億47百万円増加(為替の影響を除くと1億97百万円増加)しました。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

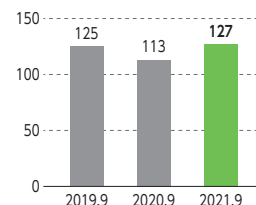


北米・欧州

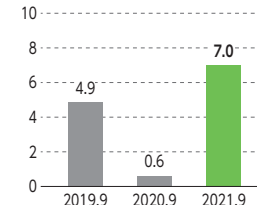
売上高 **127** 億円
営業利益 **7** 億円

売上高は、米国の新設工事およびサービス事業の増加が寄与し、前年同四半期比12.5%増(為替の影響を除くと11.2%増)となりました。営業利益は、米国でサービス事業の採算向上や販売管理費の減少が寄与し、6億39百万円増加(為替の影響を除くと6億38百万円増加)しました。

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



新生活様式対応商品に注目集まる

導入が広がる「エアータップ」

全国各地で「エアータップ」(エレベータ非接触ボタン)の導入が広がっています。特に大都市圏を中心に設置が進み、首都圏の4都県のほか、大阪では新しく建設されたオフィスビルに納入したことに加えて、札幌、名古屋、福岡にも納入しています。

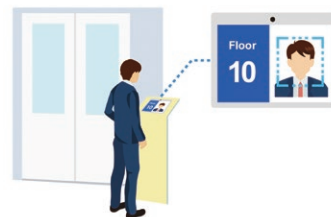
「エアータップ」がグッドデザイン賞を受賞!

さらに、「エアータップ」は2021年度「グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。新生活様式に対応した新しい機能として、注目を集める当社の標準型マシンルームレスエレベータ「エクシオール」の標準装備仕様です。今後も安心して利用できるエレベータの開発に注力していきます。



顔認証でエレベータを操作

当社は、事前に顔を登録するだけで、ボタンに触れずエレベータを利用できる「顔認証システム」を開発しました。利用方法は専用機器に顔と行先階を登録。登録後は、専用端末に顔認証するだけで、何も触れることなくエレベータを呼び、事前登録済の行先階まで移動することができます。



デジタル化を推進

エレベータをVRで疑似体感!

検討中のエレベータの意匠やかご内の広さが仮想現実(VR)で体感できます。システムは専用のヘッドマウントディスプレイを装着し、コントローラーで操作。かごの広さ、側壁、天井などのパーツ仕様の選択から、各所の色選択に至るまで着せ替えが行えます。また、社内システムにリンクし、仕様に関連した書類作成にかかる業務が削減できます。

社内業務をRPA化

社内の各部門でロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)を活用しています。RPAはコンピューター上の定型作業を、ソフトウェアロボットで自動化するツールです。当社では、働き方改革の一環として2019年10月に導入し、2021年6月までに年間7,280時間分の業務を自動化。RPAの導入と開発は、業務担当者が推進し、現在、開発・生産・フィールドなど23部門で68ロボットが稼働しています。



財務ハイライト

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	149,393	159,456
固定資産	55,803	56,880
有形固定資産	33,786	34,321
無形固定資産	4,680	4,818
投資その他の資産	17,336	17,740
資産合計	205,196	Point.1 216,337
(負債の部)		
流動負債	74,152	74,670
固定負債	5,778	5,567
負債合計	79,931	Point.2 80,237
(純資産の部)		
株主資本	124,318	128,415
その他の包括利益累計額	△ 11,901	△ 6,695
新株予約権	35	35
非支配株主持分	12,812	14,343
純資産合計	125,264	Point.3 136,099
負債・純資産合計	205,196	216,337

Point.1 資産合計

資産合計は、2,163億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億40百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産(前期:受取手形及び売掛金)が増加したことによります。

Point.2 負債合計

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加し、802億37百万円となりました。これは主に、電子記録債務、未払法人税等の減少に対し、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことによります。

Point.3 純資産合計

純資産額は、1,360億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ108億34百万円増加しました。これは、利益剰余金で、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加69億93百万円、期末配当金の支払いによる減少32億60百万円、収益認識会計基準適用等による実質増加額1億40百万円、為替換算調整勘定の増加50億3百万円、非支配株主持分の増加15億31百万円によります。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2020年4月1日～2020年9月30日)	当第2四半期 (2021年4月1日～2021年9月30日)
売上高	76,418	86,622
売上原価	59,002	64,610
売上総利益	17,416	22,011
販売費及び一般管理費	12,375	13,637
営業利益	5,041	8,374
営業外収益	899	1,199
営業外費用	329	165
経常利益	5,611	9,407
特別利益	1	477
特別損失	84	94
税金等調整前四半期純利益	5,528	9,790
法人税、住民税及び事業税	2,255	2,230
法人税等調整額	△ 658	△ 148
四半期純利益	3,931	7,708
非支配株主に帰属する 四半期純利益	492	715
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,438	6,993

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2020年4月1日～2020年9月30日)	当第2四半期 (2021年4月1日～2021年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	12,292	6,478
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,693	△ 289
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,080	△ 3,078
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 869	2,411
現金及び現金同等物の 増減額	△ 351	5,520
現金及び現金同等物の 期首残高	28,181	35,840
現金及び現金同等物の 四半期末残高	27,829	41,360

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.fujitec.co.jp/ir>



■ 企業データ

■ 会社の概況 (2021年9月30日現在)

創業 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円
 所在地 本社ビッグウィング
 滋賀県彦根市宮田町591番地1
 TEL (0749) 30-7111
 東京本社
 東京都港区白金1丁目17番3号
 TEL (03) 4330-8200
 連結子会社 19社

■ 役員 (2021年9月30日現在)

[取締役]

代表取締役社長	内山 高一
代表取締役副社長	岡田 隆夫
取締役	浅野 隆史
	土畑 雅志
	杉田 伸樹
社外取締役	山添 茂
	遠藤 邦夫
	山平 恵子
	引頭 麻実

[監査役]

社外監査役(常勤)	石川 賢一
監査役(常勤)	宇都宮靖雄
社外監査役	池田 辰夫
	平光 聡

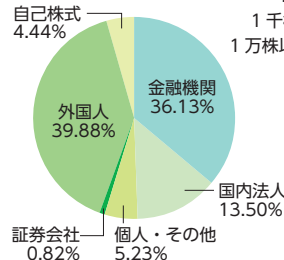
■ 株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：https://www.fujitec.co.jp/koukoku
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜4丁目5-33 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 電話 (0120)782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

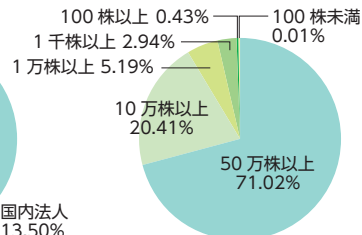
■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行済株式の総数	株主数	上場証券取引所
85,300,000株	3,557名	東京証券取引所

■ 所有者分布状況



■ 所有株数別分布状況



■ 大株主一覧

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	103,191	12.66
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	50,439	6.19
3. J. P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S. A. 381572	44,997	5.52
4. 株式会社りそな銀行	40,516	4.97
5. J P MORGAN CHASE BANK 385632	39,313	4.82
6. J P MORGAN CHASE BANK 380055	32,702	4.01
7. 株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	32,358	3.97
8. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	27,107	3.33
9. 株式会社みずほ銀行	19,892	2.44
10. 株式会社三菱UFJ銀行	16,638	2.04

(注1) 持株比率は2021年9月30日現在の発行済株式総数である85,300,000株から自己株式3,784,649株を除いた81,515,351株を基準に計算しています。

(注2) 当社は自己株式3,784,649株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

■ 当社のサステナビリティページをご覧ください。

ESG情報をはじめ、さまざまな情報を掲載しております。

当社は持続的な成長に向けて経営理念を第一に事業活動を実践するとともに、すべてのステークホルダーの価値創造に努めます。

“安全・安心”

環境

ダイバーシティ

社会貢献

新生活様式への対応

コーポレートガバナンス

<https://www.fujitec.co.jp/sustainability>



■ 国連グローバル・コンパクトに署名

当社は2021年4月21日付で国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト(以下、UNGC)」に署名し、UNGCに署名している日本企業などで構成される「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入いたしました。UNGCは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。UNGCが定める「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野からなる10原則に賛同し、当社の企業理念である「人と技術と商品を大切に、新しい時代にふさわしい、美しい都市機能を、世界の国々で、世界の人々とともに創ります」の実現に向けて活動を継続します。

WE SUPPORT



フジテック株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境負荷の少ない「植物油インキ」を使用しています。



FSC® 認証材および管理原材料から作られています。